

THE KANSAI UNIVERSITY BULLETIN

Osaka, June 30th, 1957. No. 304

# 關西大學學報

昭和32年6月 第304号

昭和三十二年六月三十日発行（毎月一回三十日発行）  
通卷第三〇四号



文化祭ポスター

關西大學學報局

## 欧米雑感

海外研究員だより

—イギリス短信—

松原藤由

(一) わからない御話  
アメリカでよりは、英語が少々よく通じるような気がしますが、あの人ばかりは何ですか、などと話しかけてみると、さつぱり相手のいうことがわからないで逆に困ることがあります。考えてみると、その筈です。このロンドンに一ケ年、七〇万から八〇万の人間が絶えず出入しています。これをパーセンテージで示しますと、イギリスの御上りさんが二一%、次いでアメリカ人が一七・五%、それからフランス人が一五%、オランダ人が九%、ベルギー人が七%、ドイツ人が六%、スイス人が四%、その他、二〇・五%となります。私はその他の一人です。それだからM・M・C・Aの英語学校や關西大學専門部の英文科で教えられたキングス・イングリッシュ、いや今日ではクイーンズ・イングリッシュなるものを通じ兼ねるわけです。私のせいでも、当時の先生方の責任でもありません。ところが外国人は読み書きが充分でなくとも多少は上手に話しますから、そうすると一体全体わからないのは、どういうわけかわからないわけです。

語の講師を勤めて月給なるものまで戴きましたが、その時は、わかっていた筈なのに、こうなると益々わからなくなりまからなくならず。目下、夜間の英語学校の会話科と外国語学校のドイツ語会話科に席をおいて、わからない話を聞いていますが、わかるようですし、わからないようですし、わからない話です。

ところで少々脱線した話ですが、外国人でお金を最も沢山使つて帰るのはアメリカ人だそうです。もとよりこれは当然で、わかつた話ですが、不思議なことには、第二位が日本人だそうです。一体どなたでせう。代議士さんでせうか。私の専門の経済学でも、どうもわかりません。帰国してから皆様に教えて戴き度いと思つています。

(二) ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス

私が昼間、在席しているロンドン・スクール・オブ・エコノミクスは、ロンドン大学を構成する三〇余のカレッジ中では四つの内に数えられる大きいものに属するそうです。図書館の利用方法や学生諸君のための諸施設には若干みるべきものがありますが、この程度の貫録なら、關西大學もと思つています。もつとも今後一層の努力が必要でしょう。このことは評議員会や理事會に期待すると共に多に御願しいたいことです。

この大学の学生は数百人ですが、学部学生の大半は

外国人、それも各国の留學生です。大学院では殆んど全部が外国人といつて過言ではありません。現に私が出席しているミード教授のゼミでも、イギリス人は一人、他は外国人ばかりです。それだからインターナショナル・スクール・オブ・エコノミクスといつた方が、その名にふさわしいと思つています。

私が二ヶ月余、在席したアメリカのジョンズ・ホプキンス大学でも、またこの大学でも、今年から授業料があがるそうです。確か一ケ年、五〇余ポンドに、それだから學生諸君は落第することが、だんだん不可能になりつつあります。気の毒なことだとも、嬉ばしきことだとも思つています。同情するも可、同情せざるも可、一石二鳥とは、このことをいうのでしょうか。

さてミード教授は遠来の私に親切ですし、ロビンス教授は著名入りの著書を御惠下さるなど、またユニバアシティ・カレッジのアレン教授とも、国有化後の産業の諸問題について親しく御話できる等、全く感謝の外ありません。想いまするに、学問と人情には国境などありません。

(三) イギリス大学の仕訳帳

イギリスの大学数と、その設立年代を簡結に要約、仕訳を致しましょう。何かの御参考になれば幸いです。面倒ですから英文で失礼します。もつともつけ落しがあります。

(イ) 大学数  
Universities in United Kingdom, 21+2 University Colleges.

(ロ) 大学の歴史

(A) 12th century: Oxford founded by migration of students from



Paris.

: Cambridge founded by  
migration of students from  
Oxford.

(B) 1400-1600 : 4 Scottish Universities founded.

(C) 1826-1829 : King's college and University college, London, founded, and University of Durham.

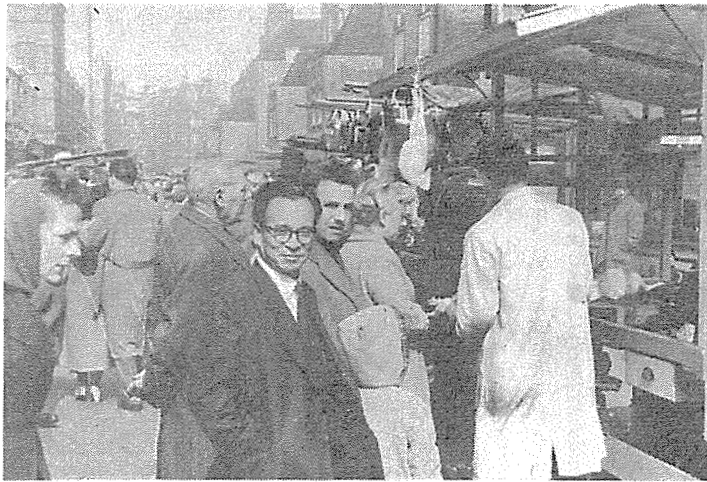
(D) 1855-1950 : Belfast, Birmingham, Bristol, Hull, Leeds, Liverpool, Manchester, Nottingham, Reading, Sheffield, Southampton, Wales, Exeter.

何といつても、オクスフォードとケンブリッジは大したもの。その構成は、男子の College が二四、女子の College が五、Special College が六、これがオクスフォード大学です。ケンブリッジは男子一八、女子三となつています。この両大学が、やはり歴史と共に立派ですが、(B) のエデンバラ大学を始めとする 4 Scottish Universities も立派な大学です。關西大學も、このような歴史と内容と名譽とを獲得するようになったものです。過日、寒い日でしたが、オクスフォードとケンブリッジのポート・レースを見物しました。今年もまたオクスフォードの大勝。

#### (四) 男女の生 態

これは私の直感の記で、従つて科学的に立証できません。或る大学の学生寮の見学を兼ねてハイ・ティール(日曜日の午後五時より六時にかけての夕食)に招かれた時の話です。朝食の時、数片のパンにバターをた

つぶりつけて、それを紙に包んでポケットに、こつそりに入れ、早々と立ち去る学生があります。或る夜、特に親しい友人が、「どうするのかねと聞きますと、その青年は、わびずれずに、実はそれでランチを節約し、お金が少々たまつたら彼女と遊びに行くんだ」と



ベティコソト・レインのユダヤ人の市にて

答えたそうです。

何と、けなげなる恋よ！ この国の学生諸君も恋をするには経費が入用とみえます。費用は全部、男子持ちとか。彼に多いに同情しましたが、しかしこの国の恋は、実はプラトニックではありません。私の直感で

は以下の如くです。「あなたは私に、どれだけの幸福と利益を与えて下さるの、それに応じて交際を適当に」と彼女は、このような態度を常に持っているようです。クレオパトラが、アントニーに、If it be love indeed, tell me how much. まあ最初からこんなことではないでしょうか。その上に女尊男卑の国ですし、もつともアメリカの男子が今に至つて後悔している程ひどくありませんが、それだのに守るべき地平線は、かなりぼんやりして、けろりとしているようです。私にはよくわかりませんが、どうもこの国の男女の生態には感心できぬものがあります。

ところでハイドパークやセント・ジュームスパークなどを散歩しますと、若い男女が重なり合つて接吻を人前で悠々とやっています。これは見る方が悪いのかも知れませんが、あれは外国人ですか、問うと。いやイギリス人です。それでは順位は？ イギリス人が第一、続くはアメリカ人、それからフランス人、ドイツ人となると多少遠慮しているのか、このへんになるとわかりませんが、さすがに東洋人になると、インドもパキスタンも、タイもビルマも、それに私も、絶対に接吻など人前では致しません。私の如きは正しく菩提樹下の御釈迦様のように品行方正、もつとも学業優等とまでは無理ですが、これを要しますに、東洋の恋はプラトニック・ラブをもつて善とし、西洋の恋は功利主義の恋をもつて秀とする、のではないかと想像できます。そろそろ肝要のこと、学生寮の諸施設は多いに参考になりました。

詳細は除いて、寮費は一人部屋で三食付、一週間、四ポンド・二シルです。二人部屋は、三ポンド・一八シル・六ペンスです。こんな安いよい下宿は、広いロンドンにもありませんでしょう。

(五) ロンドン 清談

清談とは、浮世の俗事を離れた談話と辞引に書いてあります。これを最後に加えて御別れの言葉に致します。ロンドンを訪れる日本の学者の殆んど全部が、参詣されるらしいマルクスの墓が、私の下宿から交通、極めて便利なところにあります。けれども私は未だに参詣していません。先に参詣するとスミスに気の毒に思うからです。もつとも大した義理はありませんが理由は、こうです。

場所はアメリカのボルチモア、ジョンズ・ホプキンス大学の研究室で、ヨーロッパから来られた某大学の教授が、(先生は非常に英語が上手でした)「松原さん、スミスの旧居を訪れたが、何も無かつたよ、此処に住んでいたといわれて行つてみると何も無い。人に聞いても知らない。教会に行つたら、わかるでしょう」といわれて訪れてみたが、牧師は留守で、十八才位の娘さんが、いろいろと調べてくれたが、何もわからなかつた。スミスは何も残さなかつた人だから無理もないが、残念だつた。もつとも学説史家によく聞いてみないといけないが」と。

両者は名著を、それぞれ残して後世に貢献していますが、両者とも何もものを残さなかつたらしいです。もつともマルクスは当然であるとしても、スミスが残さなかつたところに、この人の人柄が偲ばれるようにも思われます。スミスは子供もなく、原稿まで焼捨ててくれといつたとか。それが文士になると沢山残つています。私が訪れただけでも、カライル、デイケンズそれからロンドン郊外ですが、ミルトン等々、シエクスピヤに至つては、彼の生家から奥さんの家まで、シエクスピヤ・グランマー・スクール、シエクスピヤ・

ホテル、何でもシエクスピヤがついています。これはストラッドフォード・アポン・アボンという片田舎の街のことです。この街に住んでいたシエクスピヤが、果して劇を書いたシエクスピヤか、どうかも、わからないのに。

無い話では、ボルチモアは、「科学的管理法」で有名なテラーの生地と記憶していますが、何も残つていませんでした。御墓でもあるのではないかと思つて何度も聞いてみましたが、エドガア・ア・ランボウの墓なら立派なのがありますよ、是非行つて御覧なさい、といわれて馬鹿々々しく、二ヶ月半の滞在中、私は素通して当地に来てしまいました。

私の離英も後三ヶ月になりました。最後の旅行として七月中旬に、ヨーク、エジンバラ、グラスゴー、ベルファスト、ダブリンと一周しようと思つていますが、グラスゴー大学で、よくスミスのことを尋ねようと考えています。マルクスの墓は、それから。これが順序のように思われます。もつとも逆に見物しても時節柄よいのですが、或はその方が都合がよいかも知れません。私は迷つています。

来る五月二十四日より、ケントの炭坑にもぐります。これが工場見学の最後のプランです。潮水地方もランカシアも旅行しました。ヨーロッパへの準備ができると思われる八月上旬、オランダ、ベルギー、フランス、スイスを終て第三の目的地ドイツに入り、ローマ、アテネ、カイロで、それぞれ二泊、カイロで美しい日本へ、ほんとに、かいろ、です。日本へ着くのは、九月中旬の予定です。

過日、五月五日の夜、杉原教授をウオーターローの駅に出迎えました。もう一人、植野教授は、五月末だそうです。下つて小生儀、御蔭にて元氣旺盛、御休心

下さい。

(ロンドン・タビストックの自宅にて)  
(教授 経済学部)



日本経済政策学会

日本経済政策学会第十七回大会は、五月二十五、二十六両日若葉青葉の千里山大学ホールに於て開催され、第一日は研究報告が、第二日は研究報告並びに共通論題に対する特別報告として「経済政策論の対象と方法」のテーマで討論会が行われた。

研究報告論題

- 貸金政策の一考察 大阪府大 佐藤 浩一
- 社会的評価と社会的厚生指数 香川大学 稲毛 満春
- 日本経済の不均等の発展と港灣 関東学院大学 北見 俊郎
- 証券市場政策の対策と課題 慶応大学 小竹 豊治
- 日本化学工業の基礎構造に関する考察 甲南大学 中村 忠一
- 経済政策論の対策と立場 北海学園大学 池田 善長
- 経済政策論批判の方法 一橋大学 坂本 二郎
- 商業資本の集中と階層分化 東京経済大学 中村 金治
- ソフエートに於ける陳腐化の問題 公正取引委員会 御園生 等
- 経済政策論と社会学 東京聖園薬科大学 安平 哲二
- 経済政策の対象と方法 県立静岡薬科大学 久米 武敏
- 神戸大学 野尻 武敏

なお、本学より今西庄次郎、森川太郎両教授、越後和典、市原亮平、広田司郎各助教授、寺尾晃洋専任講師が出席した。

日本フランス語学会

日本フランス語学会第九回研究発表会は六月十二日(水)千里山大学ホール及び階段教室等で、約二百名の出席のもと開催された。

午前中は、研究発表、午後は学術講演会、総会等が行われ、本学からは三木治教授、高塚洋太郎、小方厚彦両助教授、前原昌仁助手が出席した。

## 学内報

### 定例評議員会

学校法人關西大學寄附行為第十八条第二項より定例評議員会は、五月二十五日（土）午後三時より天六学舎で開催。

昭和三十一年度学校法人關西大學収支決算承認に関する件、昭和三十一年度学校法人關西大學収支追加予算承認に関する件、昭和三十一年度学校法人關西大學収支補正予算承認に関する件等につき審議の結果これを承認した。

出席者

明石三郎 阿部甚吉 池田信之助 今井康兼 岩崎卯一 浦野健二郎 江里口春志 越智比古市 大島武夫 岡野衛士 樫本信雄 勝島芳松 桂忠雄 門上敏夫 神宅賀壽専 寒川喜一 寺小市郎 河野稔 小林巖 白川朋吉 関豊馬 竹澤喜代治 竹下百馬 千巖克郎 寺西武 中務平吉 長尾昇 長柄金吾 西村治三郎 西本寛一 東浦栄一 久井忠雄 平井三朗 本多喜慶 松村睦鴻 水谷揆一 宮崎平 三好万次 村尾静明 村上精三 森川太郎 八百村稔 矢口孝次郎 矢野文雄 山崎敬義 吉富二郎 渡辺正人

### 久井専務理事渡米

スタンフォード・セミナーに参加

専務理事久井忠雄氏は、このたびロックフェリア財団援助の下にスタンフォード大学商学大学院（The Graduate School of Business, Stanford University）が行う、日本私立「大学経営者セミナー」（Seminar for University Business Administrators）に参加するため、六月十九日（水）午前九時大阪駅発特急「つばめ」号で出発、二十一日（金）P A A機で羽田空港よりアメリカに向つた。



大阪駅頭の久井専務理事

なお、「大学経営者セミナー」は度々本学を訪れているロックフェリア財団チャールズ・B・フアーズ博士の発案により、アメリカ大学経営の理論と

実際について研究会を設け、日本の私立大学経営に資し、併せて日本の大学教育に寄与せんとするものである。期間は六月二十四日より八月六日までで、最初十日間程スタンフォード大学で、「管理の諸原理」、「単科及び総合大

学管理の諸原理」、「私立大学理事の職務」、「長期財政計画」、「大学開発」、「予算の計画と編成」、「予算統制と会計」、「学生授業料の決定と徴収」、「学術研究の財政と管理」、などの問題に関してセミナーを行い、爾後、シカゴ、ノースウエスタン、コロンビア、エール、ハーヴァード、ミネソタ、セントオーガス等有名な諸大学を訪れ、実地に研究することになつている。

因みに、本セミナーは最近アメリカで盛んになつて来た一般産業の経営者再教育（Executive Program）に倣うものである。

### 高橋盛孝教授帰学

文学部高橋盛孝教授は、昭和三十一年

度在外視察研究員として、昨年十二月二日、日本を後にしてアメリカ、スエーデン等に向い、コロンビヤ大学、ハーヴァード大学等で、ギリヤーク語及人類学の研究を行い、欧州各大学の教育状況を調査して、六月十三日無事帰学した。

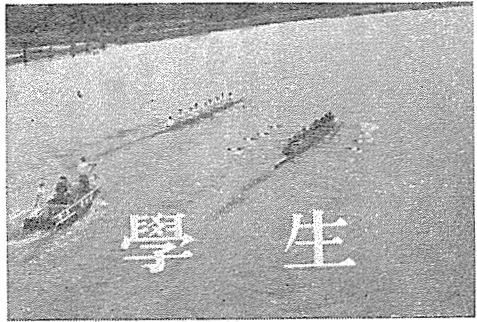
### ソ連東洋学者

#### A・A・グーベル氏来学

科学アカデミー会員ソ連東洋学者A・A・グーベル氏は、日本アジア連絡委員会の招きで来日中のところ、来阪を機に同氏を本学に招き、五月二十八日（火）午前十一時より大学ホールにて岩崎学長などと懇談会を開いた。



懇談会のグーベル氏



對 関 學 定 期 戦 (右側が本学)

### 関西六大学野球

#### 春季リーグに優勝

関西六大学野球春季リーグ戦は、二月にわたって行われたが、十三日同志社大学との優勝決定戦でこれを破り十九回目の優勝を遂げた。

第二週一回戦で立命に破れ優勝を危くしたが、同大、立命、関学がそれぞれ敗れて、五月十九日の関・関戦で難波選手の劇的ホームランで関学を破り、優勝決定戦では、村山投手の好調なピッチングで九回の裏、橋野選手のスクイズで一点を上げてサヨナラ勝を制し、春のリーグ戦に二連勝を成した。

五月十八日 対関学戦 於日生

関学	0 0 0	0 1 0	0 2 0	2 1 1	4
関大	0 0 0	0 0 0	1 0 2	2 1 1	5

関学 柴山—安西 37 7 4  
関大 前川—村上—上田 32 7 2

伝統の関・関戦は、二時より火ぶたが切られ、関学は先取点により試合を有利に進め、延長十回難波選手の劇的の二点サヨナラ、ホームランで幕切れとなった。

四回まで両軍なの変化する平凡な試合運びであったが、立命関学は、四球、二安打で一点を先得し有利な立場に立つた。七回無死満塁の初めてのチャンスをつかんだ本学は、捕逸で一点拾っただけで同点、八回関学北浦の三塁打で二点を取って試合を決したかと思われたが、九回越野の本塁打で一点、スクイズで一点と又も同点にし延長戦に突入した、しかし関学は十回津門の三塁打で三度リードをうばったその裏、本学は原田を三塁に置いて難波が才一球真中の球を左翼陣へサヨナラ、ホームランをたたき込み、手に汗を握る試合は、伝統の一戦らしい活気に満ちた好試合であった。

五月二十一日 対関学戦 於日生

関学	0 0 0	0 0 0	0 0 0	1 0 1	1
関大	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0

関学 柴山—安西 31 2 1  
関大 前川—村上—上田 32 7 0

戦歴はたんたんとした投手戦となり好調な投手に両軍の打撃はなりをひそめ、九回迄両軍無得点で、又も延長戦に持ち込んだ、しかし十回関学は川崎の中前の殊闘打で、サヨナラゲームとなり三回戦へ決勝勝ち込んだ。

五月二十九日 対関学戦 於日生

関学	0 0 0	0 0 0	1 0 0	5 1	5
関大	0 0 2	0 0 3	0 0 X	3 4 8 3	3

関学 柴山、佐々木—安西 31 打安失  
関大 村上—上田 31 打安失

優勝決定戦に出場の為にはげがひでも勝たねばならぬ両軍は、小雨降るなかにもどと両軍柴山、村上両エースを立てて対戦、三回本学は村山の安打出塁後、湯本の三塁打で一点、野口の四球と原田の犠打で一点計二点を上げ、試合の主動権を握った。

関学は五、六回一死一、二塁の逆転機を決定打の不足で無得点に終りその裏、六回一死後原田、上田の安打後森田の凡ゴロを後逸する間に原田の好走で一死後、越野の中前安打で二点を上げ計三点をとりだめおしの感があり、七回関学は一点を返したのみで春の関・関戦に勝利を握り優勝決定戦に出場を決定づけ、春の優勝がたい出来る。

六月一日 対京大戦 於日生

京大	0 0 1	0 0 3	0 3 0	0 3 1	9
関大	1 0 1	0 0 3	0 0 0	0 0 1	5

関 前川—辰巳、利川 36 12 2  
京 是永、西村—大村 28 2 2  
六月二日 対京大戦 於日生

京大 2 0 0 0 0 1 1 2 1 0 7  
関大 0 0 0 0 0 1 1 2 1 0 7  
京 津田—大村 29 3 0  
関 音田—辰巳、相川 37 16 0

リーグ戦の最後の相手校京大に初回四球、三安打で早やくも二点を上げ五、六、七、八回と得点を重ね計七点を取り一方的に京大をくだし、優勝決定戦出場権を取り、春の優勝が待たれる。

六月十三日 対同大 於日生

同大	0 0 0	0 0 0	0 0 1 0	1 0	1
関大	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0

関 蔵本—羽根田 31 4 2  
関大 村上—上田 28 6 2

力の村山投手、柔軟形の蔵本投手の対照的な両投手の投げあいとなり一点を争う接戦を繰り展げ両軍四、五、六回のチャンスに決定打なく一進一退の戦況となり、九回裏原田の左前安打で出塁、難波が前進守備の逆をついて二塁目を強打し安打となり、上田のバンドで二、三進し、越野が満塁策の四球のあと橋野のスクイズで原田は小躍りしてホームインし優勝が決定した。

### 関西学生陸上競技対校

#### 選手権大会に五連勝

第三十四回関西学生陸上競技対校選手権大会は、五月二十五、二十六両日薄雲りの大阪市立グラウンドに於いて挙行された。

本学は、清水主将を始め河野、磯村選手等の活躍で、トラック競技中距離陣の不調をカバーし、フィールド競技で六十七点五を上げ、全員の必至の戦いで二位関学を十一位の差をもつて五連勝を成し、関大スポーツに栄えある戦歴の一頁を残した。

記録(本学関係三位迄) 於大阪市立グラウンド  
才二日目  
砲丸投 ①清水省三 12米93 ②池島 走幅跳 ①河野  
八郎 6米69 ②武内、やり投 ①蔵村孝夫 52米14  
走高跳 ①河野 五千米 ①灰本  
才二日目  
百米 ①野村 千五百米 ②高橋 三段跳 ①河野八郎  
14米32 棒高跳 ①平山 円盤投 ①清水省三 36米57  
②池島 ハンマー投 岸本治 33米 百十米障害 ①香  
江敏彦 16秒7  
順位 ①関大—〇九点五 ②関学九十八点五  
同大 ④立命 ⑤近大 ⑥京学大

なお、第一回中京大対校定期戦を六月二日大阪市立グラウンドで行い、総合得点では中京大に破れたが、走巾跳で河野八郎選手が7米1の本年度学生最高記録を作った。

### ボート部

第一回関大対関学ボート定期戦は、六月四日淀川桜宮で対戦、前半リードを許していたが、差をだんだんちぢめ四分五十秒で関学を三艇身の差をもつて第一回の勝利をもたらした。(写真参照)

### バスケット部

第七回西日本学生バスケットボール選手権大会は二十三日から五日間大阪府立体育館で行われ、本学は順当に勝ち進み、準々決勝で金沢大学を、準決勝で立命館大学を破り、決勝にて関学に対戦、前半シロウ・ゲームを続け、37対37と同点のまま、後半に勝負を持ち込み、五分45対45と同点、六分本学はシュートミス、反則が目立ち51対47、53対47とリードをうばわれちりちりと点差が開き、

81対62にて優勝を逸した。

記録(本学関係のみ)  
準々決勝

関大 90 (5040) 75 金沢大

準決勝

関大 88 (3949) 74 立命大

決勝

関学 81 (4437) 62 関大

### 関西学生バレーボール

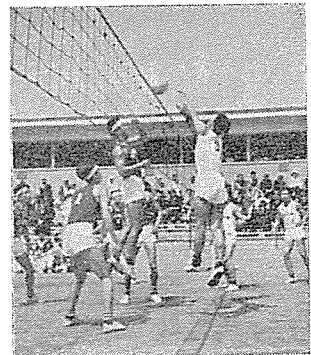
#### 春季リーグ戦

関西学生バレーボール春季リーグ戦は五月十二、十九、二十五、二十六日、六月一、二日、神戸王子公園コート、神戸YMCA体育館、京都同大体育館等で行われ、二十八年秋、一部に昇格以来上位進出を目指してシーズン毎に全力を尽し、昨年の秋四位にとどまり、本年は多田主将のもとに全員の努力で、バレー部創立以来のA級進出が実現した。

なお、関西学生ベストナインに多田弘(BL)松岡政見(HL)の両者が選ばれ、又、多田弘選手はサーブ賞を受賞した。

記録

関大 2 (2122) 0 立命大	関大 2 (2122) 1 立命大
関大 2 (2122) 1 立命大	関大 2 (2122) 1 立命大
関大 0 (9) 2 同志社大	関大 0 (9) 2 同志社大
関大 2 (2121) 0 同志社大	関大 2 (2121) 0 同志社大
関大 0 (1614) 2 関学	関大 0 (1614) 2 関学
関大 0 (2121) 2 関学	関大 0 (2121) 2 関学
関大 2 (2121) 0 関学	関大 2 (2121) 0 関学
関大 2 (2121) 0 大阪市大	関大 2 (2121) 0 大阪市大



熱戦

関大 2 (2121) 0 大阪市大	関大 2 (2121) 0 大阪市大
関大 2 (2152) 1 神戸外大	関大 2 (2152) 1 神戸外大
関大 1 (1521) 2 神戸外大	関大 1 (1521) 2 神戸外大
順位 優勝 神戸外大 九勝一敗 二位 関学 八勝二敗 三位 関西大 六勝四敗 四位 同大	

### ハンドボール部

関西学生ハンドボール春季リーグ戦は約一ヶ月間に渡つて、西ノ宮球場において行われ、本学は初戦同大と対戦3対10にて破れ、これが大きく優勝にわざわざいして、関学、神大等順次破つたが二位に甘んじた。

記録(本学関係のみ)

関大 3 (1) 7 10 同大	関大 3 (1) 7 10 同大
関大 7 (3) 4 6 関学	関大 7 (3) 4 6 関学
関大 16 (11) 0 1 神大	関大 16 (11) 0 1 神大
関大 6 (5) 1 4 大経大	関大 6 (5) 1 4 大経大
関大 10 (4) 3 9 立命	関大 10 (4) 3 9 立命
順位 ①同大5勝 ②関大4勝1敗 ③関学3勝2敗 ④大経大 ⑤立命 ⑥神大	

### 堤野(しない競技)優勝

第五回関西学生剣道しない競技選手権大会は五月十九日に行われ、剣道の部では、高田選手が準決勝で破れたが、しない競技の部で準決勝に長谷川、堤野両選手がこまを進め、決勝に堤野選手が残り優勝した。

記録(本学関係のみ)  
剣道の部

準決勝 ○井上(関学) コ 高田(関大)

しない競技の部

○藤山(神大) 4-1 長谷川(関大)

○堤野(関大) 1-0 吉野(同大)

○堤野(関大) 4-0 藤山(神大)

### 学術祭

第七回関西大学学術祭は、梅雨晴れの六月八日(土) 樹々の緑のあでやかな中ノ島公会堂で学術祭にふさわしい雰囲気の中に、学生、一般の聴衆は、青葉をわたる風を肌感じつつ、続々参集、十時半開演、学術祭は順次プログラム順に快調のうちに進み、荒正人氏の「性と文学」、向坂逸郎氏の「民族と独立について」、岡本清一氏の「二つの世界と自由」、藤本是氏「ドイツから帰つて」等現代に於ける興味ある諸論題の問題点をとらへての講演に拍手の波でうずまいた。映画は、「生きていてよかつた」「ガラスの城」の二本が上映され、静かな鑑賞風景をかもしだした。又公開討論

会では活発な討論が行われ、一方珍らしい朝鮮舞踊に心をうばわれ、夕やみせまる中ノ島に第七回関西大学学術祭の幕を閉じた。

### 映画祭

六月一日(土) 中之島中央公会堂に於て、映画研究部主催のもとに、第十一回「講演と映画の夕」が開催された。午後五時開場、ぞくぞくと詰めかけた入場者は約千六百名に及ぶ盛況ぶりであった。五時半開幕、MGM映画総天然色「リリ」上映の後、山本映研部長挨拶、花東贈呈があつて、朝日新聞社文芸部島海一郎氏の講演が行われ、満場の拍手のうち、再び日活映画「ビルマの豎琴」が上映されて、夜九時半その幕を閉じた。

### 吟詩大会

吟詩部では六月四日(火) 恒例の第五回春季吟詩大会並びに第二回新人大会を法文学舎一四教室で挙行、詩吟も一般学生に段々理解される様になり、三百名程の熱心な聴衆が五時間の長時間に渡つて行われた各大学の部員、師範、先輩等の吟詠に耳を傾けていた。中でも吟詩部初めての試みである書道吟は大変な好評を博した。尚大会終了後各大学と関西学生吟詩連盟結成に就いて話し合ったところ賛同を得、いよいよ今秋結成が実現しそである。





校友 パ ツ チ

# 校 友

## 本部の動き

校友会常議員会各部ではそれぞれ活潑な活動を示し、次の如く会合を行った。

- 五月二十一日 組織部会 一中校長室
- 同 三十日 広報部会 一中校長室
- 六月三日 組織部対学友会懇談会
- 同 四日 事業部就職座談会 郵政会館
- 同 八日 近畿支部長会議 千里山 才一学舎
- 同 十五日 組織部大阪市内未設支部発起人打合せ会議 千里山 才一学舎

## 和歌山支部

五月四日(土)午後三時より和歌山市ブラクリ町「ちんや食堂」で春季総会を開催した。久し振りの会合のこととして、四十有余名の多数の集いとなり、安井校友課長から母校並びに校友会の近況報告があつたが、関大の前途益々多幸なりと確信し総会に入つた。

総会は木下幹事長の開会の辞に始まり、高垣支部長の挨拶(和歌山市長として交通施設調査の為、六週間の予定を以て六月十八日訪米)があつた。

尚、支部役員の任期も満了になつてゐるので改選の結果左記の通り就任するこ

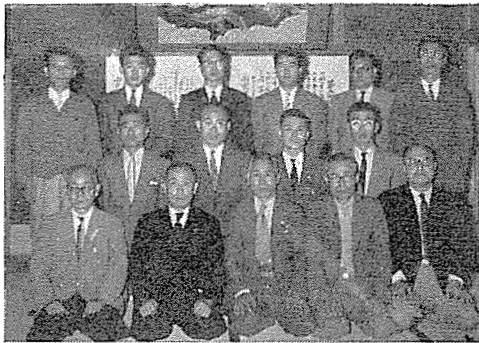
とになつた。

- 新役員
- 支部長 高垣晋一
  - 副支部長 北川静雄 宮本嘉蔵
  - 幹事長 木下栄繁 (副) 堂本修
  - 会計幹事 新谷幹夫 朝比奈博文
  - 幹事 井本豊順 上野竜亮 江川信郎 木村一哉
  - 木倉栄二 坂田幸男 中谷鉄也 堀康之 前田光
  - 村田喜一 安川光 森田精章 丸山弘 米田隆一

## 千里山昭八会

五月九日(土)午後六時より大阪郵政会館に於て第四十七回例会を開催。

今回は大津地方検察庁より北之正勝氏を久振りに迎えて大いに歓談を交わした。二十数年振りに再会したと云う者もあり、話は勢い夢多かりし昔に還えり、光頭、銀髪しぼし打忘れ懐旧談に花を咲かせ、お互い愉快な数刻を過ごし午後九時半学歌を斉唱して散会した。



大 分 支 部 総 会

- 出席者
- 北之正勝 田淵三郎 中家利国 藤本順二郎 浦野健二郎 大島武夫 賀本英敏 結城丙太 山本桂之助 平井三朗

## 大分支部総会

五月二十五日(土)午後五時より別府市駅前通「光園」に於て大分支部第五回定時総会を開催。

会は子浦副支部長の開会の辞に始まり野田支部長より「関西大学校友会別府クラブ」の計画並びにその抱負について談話があり、支部の結束を固め益々発展せ

しめたいと希望を述べ、引続き得丸幹事より会務報告、平居会計より会計報告があり全員承認、役員改選については支部長に一任し西村副支部長の閉会の挨拶あつて議事を終了。記念撮影後親睦会を開催、宴は和気霽々に進み、余興統出、しみじみ旧交を温める内に一同起立、学歌の斉唱、校友会万歳三唱し盛会裡に九時を閉じた。

- 新役員
- 支部長 野田博
  - 副支部長 別本静哉 子浦淳美 西村正美 藤原亀夫

## 校友会一切のご連絡は 校友会事務局へ!

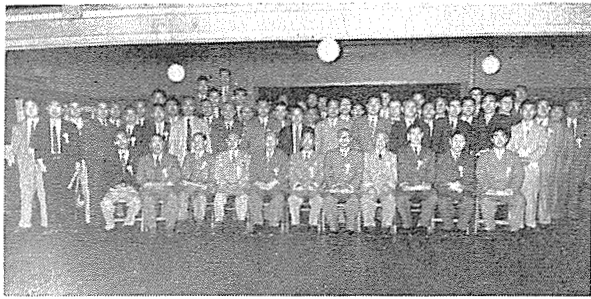
従来校友会に関する事務は大学の校友課で取扱つていましたが、卒業生数が多くなり、校友会の組織も大きくなつて、事務量がふえてきましたので、校友会事務局を開設いたしました。天六学舎三階、もと短大教務室跡の一室で、電話は☎代表二〇七二番関西大学交換台で、すぐ事務局に連絡します。校友の皆さんのご用は何でも御申し聞け下さい。新聞・関大に掲載する校友諸会合の記事や写真、住所や職業の異動、知友諸氏の慶弔などもご連絡下さいは幸甚です。校友名簿は正確でないとい名簿の用をなしません。名簿資料の蒐集にどうかご協力のほどお願い致します。

昭和三十三年六月

大阪市大淀区長柄中通二丁目  
**関西大学校友会**

電話 ☎代表二〇七二番  
振替口座大阪五五五九四番





東京支部春季総会

東京支部春季総会

東京支部春季総会は、五月十日若葉萌える日比谷公園内「松本楼」で開催、時・所共に恵まれ、校友の出足頗る良く総勢七十四名空前の盛況となつた。衆議院議員の北村、田中、参議院議員大川の三先生が国務御多忙の中を繰り合せ御見えになり夫々有益な御話と御挨拶があつた。

会は香西副支部長の開会の辞、中山支

幹事 浜田土雄 木本善重 佐藤友之 渡辺順四郎  
後藤孝智 原田耕起 得丸正雄 渡辺栄一 岡本義章 菊川徳則  
会計 藤野幸男 平居安雄  
監事 内田宏 小野靖夫

部長の学校近況報告を主としての挨拶、中村幹事の事務報告、開宴中に於ける初出席会員の自己紹介、北村顧問の国連使節エピソードと進み、西岡、田辺阿長老による母校と支部の万歳三唱を以て八時過ぎ散会に到る迄、和気霽々裡に経過した。

出席者

- 北村徳太郎 田中久雄 大川光三 平岡啓道 新井忠二郎 秋元洋平男 安達竹七 伊賀上嘉雄 伊藤孝行 井道正文 上原悟 植田八郎 大光一成 岡田知巳 奥田智 大西康雄 荻野勉 甲斐亀夫 香西政一 亀井寛 川谷勝哉 川越武明 韓行煥 桐山一雄 岸副且 小西藤一 狐塚正雄 小林稔 児島隆男 三枝芳郎 佐野利三郎 沢田勇夫 酒井英雄 洪田昇一 諏訪富三郎 鈴木康之 田辺明四郎 田中寿蔵 谷川敏一 筒井洋造 辻本直正 戸根泰雄 所剛夫 中川啓 中島利夫 中山幸市 永利一衛 中村高吉 中田彰久 西垣友夫 新田富治 野島豊志 野坂真三 如孝二郎 伴勇 弘中百合登 福部章 堀義弘 本郷桂 松尾栄三郎 皆木鉄夫 三宅靖浩 宮崎平 村井森吾郎 村崎正幸 村田泰祥 森田稔 安田日出男 安田義哲 山口功 山地仁 弓削多義郎 吉岡郁夫 吉田有宏

十九会春季総会

五月二十五日(土)午後六時より大阪上六「大阪府教育会館グリル」に於て十九会昭和三十一年度春季総会を開催、会員一同久しぶりに一堂に会し、旧交を温めた。

当日は吉永登教授が出席され、発展途上にある大学の近況について色々と報告があり、一同母校の力強いあゆみに意を強くした。又会員中、遠隔の地より登地氏、出口氏ら出席し、仲々の盛會裡に会



十九会春季総会

を閉じた。

出席者

- 文学部 吉永登教授  
登地佐太雄 今井敏 出口正巳 伴繁栄 吉本庄作 山村睦夫 北川甚太郎

大阪支部春季総会

六月一日(土)午後一時より昭和三十一年度春季総会を開催、今季は宇治木幡「松殿山荘」での茶会、次に黄檗山万福寺並びに宇治平等院参観、その後「菊屋万碧楼」に於て親睦会を開いた。

午後零時半、天満橋京阪駅前に集合、大阪観光バスの貸切車にて出発、車中バスガールの沿線風景解説に耳を傾け、新緑の「松殿山荘」に到着、香り高きお茶の接待を受け、附近の茶畑を見学し乍ら下山、黄檗山にて支那様式の禪の説明を聞き、平等院に至り、宇治川に面した菊屋万碧楼で飲を尽して散会したのが九時であつた。

出席者

- 来賓 岩崎学長 矢野常務理事  
阿部甚吉 阿久根幸吉 青木通泰 石原孫市 池

記念植樹申込者

六月十八日現在

- 谷亀太郎 梅原貞治郎 海野円城 上山喜雄 榎本昭 大石雄一郎 大月博 大島武夫 榎本信雄 神屋敷民蔵 木村順次郎 坂本竜夫 下条小野右衛門 芝田裕二 因豊馬 田高亀夫 樋芳太郎 段林作太郎 塚田正則 富永竹夫 長柄金吾 中務平吉 西尾一夫 西本寛一 西村治三郎 野田俊孝 浜野耕三 松本芳太郎 丸山喜三造 三木基太郎 村尾静明 八木万太郎 大和英雄 山本寅之助 安井登吾 吉村福藏 横田長次郎 米田恒治

東京支部

- 中島利夫 山桜 二本  
本郷 桂 山桜 二本  
田辺 明四郎 山桜 一本  
韓 行煥 山桜 一本  
彌 義宏 ユーカリ 一本  
田中 寿蔵 ユーカリ 一本  
畑 孝二郎 山桜 五本

累計

- 楠 三本 ヒマラヤ杉 一本  
山桜 百九十七本 ユーカリ樹 十三本  
銀杏 十四本 メタセコイヤ 十一本

昭和三十三年六月三十日発行

関西大學學報 第三〇四號

大阪市中淀区長柄中通二丁目一二番地  
編集兼 久井 忠 雄  
発行人  
大阪市北区川崎町三八  
印刷所 株式会社 ナニワ印刷所  
電話(95) 七二七二番

發行所 関西大學學報局  
大阪市中淀区長柄中通二丁目

電話(堀川) 二〇七二番  
電話(大阪) 二六七二番

## 記念植樹募集

昨秋創立七十周年を記念して施設の拡充を図り、千里山及び天六両学園に近代建築の学舎を完成し得ましたことは洵に御同慶に堪えません。

さて、この構築美に配するに樹木や芝生の景観美を以てし、造園技術の粋をあつめて、教育環境を形成することは、日々これに接する学生達にあるいは憩いの、あるいは思索の場所を与え、学習研鑽の資となるべく、また、学窓を出でては学舎と共に、一本の樹木にも母校への思慕の情を抱かしめるであります。

かかる教育環境形成の重要性に鑑み、本学では植樹造園に つとめたいと存じておりますが、また有志の方々からこの趣旨に御賛同下されて樹木の御寄附にあづかり得ば幸甚に存ずる次第であります。

昭和三十三年三月

## 關西大學

何卒右趣旨に御賛同を賜わりまして、単価表により樹木御指定の上左記宛御申込下さいます様御願申上げます。

### 一、樹木単価表

イ、楠	(高さ十尺、巾七尺、太さ目通一尺) 卷本一〇、〇〇〇円
ロ、銀杏	(高さ七尺、巾三尺、太さ目通四寸) 同 三、〇〇〇円
ハ、南豆ハゼ樹	(高さ八尺、巾五尺、太さ目通六寸) 同 六、〇〇〇円
ニ、山桜	(高さ七尺、巾三尺、太さ目通二寸) 同 五、〇〇〇円
ホ、ユーカリ	(高さ八尺、巾三尺) 同 一、五〇〇円
ヘ、メタセコイア	(高さ四尺一五尺) 同 一、五〇〇円

単価表の値段は送料、植込材上並に根着き迄(枯れた場合は植替)の責任保証となつていませぬ。

### 二、記念植樹御申込先

關西大學 校友課  
 大阪市大淀区长柄中通二ノ一二  
 振替口座 大阪 一七八七五番

昭和二十六年十月十五日第三種郵便物認可  
 昭和三十三年六月三十日発行(毎月一回三十日発行)

## 關西大學學報

第三〇四號 六月號

關西大學法制史學會 共編  
 關西大學經濟學會經濟史研究室

## 大阪周辺の村落史料

A5判 フランス綴箱入

本書は關西大學図書館に所蔵されている貴重な村落史料のうち、庄屋文書といわれる庄屋の蔵に放置されていた記録を纏めて、法制史及び経済史は勿論、一般史学やその特殊部門の研究に寄与せんとして公刊されるものである。庄屋文書のなかには、庄屋自身の任命、退役から、舐、達、回状、農民の五人組、宗門改、検地、耕作、年貢、水論、新田開発は勿論、田畑建物の売買質入、奉公人、人身売買、縁組、相続、遺言、往來手形、寺送り村送り等に至るまで、百般の法律行為に関する文書までが保存されているので、近世農民の法律および社会経済生活はこれらの史料によつて明かになるであろう。

### 第一輯 (庄屋文書)

二二〇頁 頒価 金四〇〇円

既刊

本輯に選んだのは訴訟に関する書類の多い河州松原村、摂州味舌、耳原両村の庄屋留書である。

### 第二輯 (耕肥、拝借銀、頼母子)

一七〇頁 頒価 金三五〇円

既刊

本輯に選んだのは、農耕の基となる肥料と、その購入資金と入手方法に払つた農民の努力と法律関係、および金融、とくに御発起無尽と称せられる藩政頼母子の運営等に関する書類である。

### 第三輯 (証文集、村役人)

二二五頁 頒価 金四〇〇円

既刊

(なお御入用の方は大學出版部へ直接御注文下さい)

發行者 關西大學  
 發售所 關西大學出版部  
 大阪市大淀区长柄中通二丁目